

平成28年7月

各 位

一般社団法人日本ダクティル鉄管協会
関 西 支 部

(一社)日本ダクティル鉄管協会 関西支部主催

講演会のご案内

皆様方におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は日本ダクティル鉄管協会に対し格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、当協会では、水道事業体の皆様等を対象に、下記の講演会を開催させていただくことといたしました。

ご多用中とは存じますが、万障お繰り合わせの上、参加下さいますようご案内申し上げます。

記

1. 開催日 平成28年8月26日(金) 13時30分より (受付は13時より)

2. 開催場所 建設交流館 8階 グリーンホール

別添資料-1

住所：大阪市西区立売堀2-1-2 ※車でのご来場はご遠慮下さい。

3. 講演内容

別添資料-2

① 13:35~14:55

講演 「水道事業の現在位置と将来」

講師：水資源機構経営企画部次長

熊谷 和哉 様

② 15:05~16:25

講演 「液状化と液状化に伴う地中構造物の被害」

講師：東北学院大学 工学部環境建設工学科教授 吉田 望 様

③ 16:30~16:50

技術説明 「平成28年 熊本地震の管路被害の概要(速報)」

講師：(一社)日本ダクティル鉄管協会 技術委員

4. 参加費 無料(交通費は各自でご負担願います。)

5. 参加申込

別添資料-3

参加希望者の所属、氏名をご記入の上、8月22日(月)までに、参加申込書をE-mailまたはFAXにてご送付をお願い致します。

なお、誠に勝手ながら会場の都合上、定員になり次第、申込みを締め切らせていただきます。

6. 連絡先

ご不明な点がございましたら、以下までお問い合わせ下さい。

(連絡先)

(一社)日本ダクティル鉄管協会関西支部

宮田 実紀 [E-mail : m-miyata@jdpa.gr.jp]

TEL 06-6245-0401

FAX 06-6245-0300

以上

別添資料-1

建設交流館

大阪市西区立売堀2-1-2

TEL 06-6543-2551

<交通>

地下鉄四ツ橋線

本町駅 23番出口より徒歩5分



平成28年8月26日 講演会スケジュール

時 間	内 容	講 師
13:00～13:30	受 付(建設交流会館8階 グリーンホール前)	
13:30～13:35	開会挨拶 および 事務連絡	
13:35～14:55 (80分質疑含)	<p>講演 『水道事業の現在位置と将来』</p> <p>講演概要: 少子高齢化極まって長期人口減少を迎える我が国であるが、なぜ人口減少なのか、なぜ長期と言い切れるのか、現在の人口動向を見ながら人口推計の確度を考えてみたい。その上で、1億2千万人を支える水道事業はどのように出来上がったか。一方で、今後の”長期人口減少社会”を向かえる日本で水道事業はどうあるべきか。現在の水道事業を構築するにあたり蓄積してきた計画論、方法論が、これから、通じなくなるように思われる。水道事業の事業環境の1つ、ただ非常に大きな影響力を持つ1つとして長期人口減少社会が位置づけられる。このような事業環境とする水道事業に求められる時代への適応・順応が何かを考えたい。街と人をリアルに受け止める先に水道事業の持続性がある。</p>	<p>水資源機構 経営企画部次長 熊谷 和哉 様</p>
14:55～15:05	休 憩	
15:05～16:25 (80分質疑含)	<p>講演 『液状化と液状化に伴う地中構造物の被害』</p> <p>説明概要: 液状化と液状化に伴う流動の現象のメカニズムとそれに伴う被害、特に地中構造物の被害などに着目し、被害のメカニズムを考える上で重要な液状化の真の姿を説明する。さらに、大きく地盤が動く際の水道の被害を2011年の地震を例にして紹介する。これらを通して、水道管の被害を考える上で何が重要かという事を考えていただくきっかけとしたい。</p>	<p>東北学院大学 工学部環境建設工学科教授 吉田 望 様</p>
16:25～16:30	休 憩	
16:30～16:50 (20分質疑含)	<p>技術説明 『平成28年 熊本地震の管路被害の概要(速報)』</p> <p>説明概要: 平成28年 熊本地震において、当協会で行った管路被害状況の調査や断層などに関する調査結果を説明する。</p>	<p>一般社団法人 日本ダクタイトイル鉄管協会 技術委員 森田 真子</p>
16:50～17:00	閉会 (アンケートご記入)	

